



は青年部
担当副会
頭塚原様
よりご挨拶を頂き
ました。
また、各
委員長・
室長から
本年度の

5月20日、八戸プラザホテルにて令和3年度通常総会が開催され、多数の皆様にご参加頂きました。中村知行会長の議事進行のもと、令和2年度事業報告並びに収支決算、理事の選任について、令和3年度事業計画並びに収支予算などが審議されました。本年度の事業計画では、中村会長の所信表明や各委員会・室から事業計画が説明され全議案とも承認となり、滞りなく閉会しました。懇親会では

令和3年度

通常総会

YEG 青年部だより

革進

第97号

令和3年度
八戸商工会議所青年部スローガン

Go for It!
～繋げよう希望溢れる未来への糧～

日本経済は超高齢化社会を迎え、急速な人口減少問題や消費増税による消費の低下など様々な課題に直面しております。特に、地域経済においては、若年層の首都圏流

スローガン

Go for It!
～繋げよう希望溢れる未来への糧～

令和3年度 会長所信

(株)中長印刷

室長 佐々木 晴久

総務室

抱負が述べられ、多くの会員に周知できました。今回の懇親会は「どうやったらやれるか」を念頭に準備し臨みました。コロナ禍の本年度も情勢判断が難しい年ですが、各委員会・室事業の出来る事を全力でやっていき、その精神で邁進して参ります。

出による人手不足の恒常化が大きな課題となっていた中、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により、過去に類を見ないほどの危機的な局面に立たされることになりました。このことは、私たちの故郷である八戸市経済においても例外ではなく、地域に生きる青年経済人として看過することの出来ない課題です。

当青年部においては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から昨年7月に開催予定でありました商工会議所青年部第18回全国サッカ大会八戸大会を中止と致しました。一方で、通常の会議開催においては、Web総会やリモート会議を取り入れるなど新たな可能性を見出す機会となりました。今後は各種大会や事業の開催制限により、交流人口の減少等に伴う経済活動の停滞が懸念される一方で、

ソーシャルディスタンスやテレワークに見る新しい社会生活への対応が必要不可欠となり、正に変化を受け入れざるを得ない時代を迎えたと言えます。

八戸商工会議所青年部（以下、八戸YEG）は、創立30周年を迎えた翌年の平成30年度以降「革進」をビジョンに掲げ活動してまいりました。私たちを取り巻く環

境は刻一刻と変化しており、時代の変化に対応した柔軟な対応が求められます。そして、より良い地域を築くために次代へ糧をつないでいかなくはなりません。令和3年度は「Go for It!」～繋げよう希望溢れる未来への糧～をスローガンに掲げさせていただきます。このような厳しい状況の中ではありませんが、今では活動のベースである会員数も150名に迫り、一人ひとりが交流と研鑽に努め、様々な事業に取り組んできた事は会員数が示すように地域に求められる団体となった証であると思います。そして青年経済人としての自己実現に向け、最大限の努力をしていく事が自企業の発展と地域の発展に繋がるものと信じ、次代の担い手として活動してまいります。

私たち八戸YEGは令和4年度に創立35周年を迎えます。これまで先輩方が築いてこられた礎と、夢に挑み積極果敢にチャレンジする姿勢を胸に刻み、希望溢れる未来へ向かって共に歩を進めていきたいと思います。

八戸商工会議所青年部

会長 中村 知行

(有)中ペン塗装店

令和3年度
全委員会室
合同会議

4月7日、令和3年度全委員会・室合同会議が八戸商工会館にて開催されました。

前年度会長の向井直前会長からバトンを引き継ぎ、本年度の

中村会長を中心とした新体制での、初めての会議となりました。4委員会1室がそれぞれのテーブルに分かれ、限られた時間の中、活発な意見交換がなされました。会議終了後、各委員長・室長より決定した委員会名や本年度の事業計画・予算の報告、抱負などが発表され、役員・事務局の紹介や集合写真撮影が行われ、滞りなく閉会となりました。コロナ禍で開催も危ぶまれましたが、ソーシャルディスタンスの確保や会議時間の調整など多くの

対策をとることで開催に至りました。また、多数の会員の出席があり、中村会長が舵をとる八戸YEGでの新たな出航へ素晴らしいスタートを切ることが出来ました。

総務室

室長 佐々木 晴久

(株)中長印刷

室長・委員長の抱負

◆総務室

室長 佐々木晴久

(株)中長印刷



総務室室長を仰せつかりました佐々木です。会長直属の室として、各委員会との連携をとり、総会・定例会及び事業運営のサポートをさせて頂きます。また今期は新しい取り組みとして、青年部活動への参加率向上、入会案内用にセミナー・研修動画作成を行い、組織活性化に繋げていきます。室員一同、中村会長を支えて参りたいと思います。

◆みなとみらい
活性化委員会

委員長 田中 圭



(社)日本サンライフ終身元保証協会
みなとみらい活性化委員会の委

員長を仰せつかりました田中です。本年度は、カッターレースをこれまで以上に地域に根付いた、地域に必要とされる事業へと躍進していく事を目標とし、自立した持続可能な新しい運営体制を築くべく活動していきたいと思っています。事業を通じて委員会活動の活性化を図り、館鼻イルミネーションの事業化を始め、新しいことにもチャレンジしながらメンバー全員で目標達成に向け邁進して参ります。

◆地域連携ブランド
研究委員会

委員長 泉山 和久



地域連携ブランド研究委員会では、これまで南部圏スクラム8委員会が先輩方が培ってきた遺産を受け継ぎ、一層の圏域交流と産業の活性化を図って参ります。当委員会の活動を通じ、八戸と圏域町村の様々な団体との連携により新たなビジネスや、価値を創出していきたいと思っています。是非、他の委員会の皆様も沢山の情報を共有して頂ければ幸いです。不慣れな私ですが精一杯頑張りますので、ご理解ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



◆情報革新委員会
委員長 沼畑 武行
カスタネット

情報革新委員長の沼畑です。当委員会では、その名の通り大転換期の現代において、企業や地域に必要な「革新」を「情報発信」の面で貢献したいと考えております。新しい時代の広報戦略などを真面目に勉強しながら楽しく関わり、委員会のメンバーはもちろんですが他の委員会、商工会議所青年部のOB・OG、多くの仲間と交流できたら嬉しいです。これからどうぞよろしくお願い致します。



◆キズナ活性化委員会
委員長 立場 輝栄
アダプティブ(株)

キズナ活性化委員会の委員長を仰せつかりました立場です。昨年度はスポーツでまちおこしに寄与をすることを目的に活動していた委員会から、本年度はスポーツ(以外でも)で会員の交流活性化を目的とした委員会になります。中々事業ができない状況下ではあります。が、会員同士が交流できる事業を模索し、キズナを深めることに取り組みたいと思います。2年間よろしくお願いたします。

カッターレース中止 と体験会の実施

5月9日、白銀ポートパークにて、カッター体験会が行われました。2年連続の大会中止が決定となったカッターレースに対する姿勢や、想いを風化させず、紡いでいくことを目的に実施しました。「体験会」という新しい形での取り組みでしたが、準備からレースまでのイメージを体験でき、カッターレース経験者、初体験のメンバーそれぞれの多様な気づきに繋がりました。八戸海洋少年団の子どもたち総勢25名の参加もあり、交流を深めることができました。ご協力賜りました皆様には深く御礼申し上げます。



みなとみらい活性化委員会

委員長 田中 圭

(社)日本サンライフ終身元保証協会

第1回 地域ブランド研究会 田子

5月28日、第1回地域ブランド研究・交流会を、田子町の池田ファームにて開催致しました。

圏域商工会青年部からも多数の参加を頂き、また当委員会だけではなく八戸YEGの他委員会からも多数参加があり、感染対策を行いながら無事実施できたことに、心から感謝しております。

はじめに、地域連携ブランド研究委員会の本年度の活動計画を申し上げ、その後、田子ニンク料理推進協議会会長、佐藤剛大様よりご講演を頂きました。ブランド研究・発信の熱意だけではなく、後継者育成や毎年のメニュー

のリニューアルに係る苦労なども伺うことができ、今後の課題となる「地域ブランドの形成」に向け、大きなヒントを頂きました。

圏域商工会青年部と



の交流で、コロナ禍でも前を向いて頑張る意欲を頂き、今後のYEG活動に繋げて参ります。

地域連携ブランド研究委員会

副委員長 松浦 芽久美

(株)パークホテル

(二財)VISITはちのへと 広域連携調査研究

4月20・21日に(一財)VISIT

ITはちのへと三八地域県民局地域連携部に随行し圏域町村役場、商工会、観光協会との意見交換や今後の取り組みについて情報共有を行いました。これまで各地域の団体がそれぞれ行っていた事業を協力して行うためにも今回の訪問は大変有意義なものとなりました。

2021年7月27日に、当地も含まれる「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産へ登録されました。2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された八戸三社大祭と併せ、地域の魅力を世界へ発信する大チャンスとなります。

昨今はコロナ禍により、各地域でのイベントを中止せざるを得ませんでした。新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、圏域を周遊できる観光プランの提案準備を進め行くことを相互に確認しました。



な連携を図って参ります。

地域連携ブランド研究委員会

委員長 泉山 和久

三八五流通(株)

日本YEG 八戸市図書館に絵本寄贈

5月13日、



八戸市立図書館、田茂隆一館長を訪問し、中村会長と共に日本YEG制作の絵本「おかねってなあに?」を寄贈致しました。絵本は渋沢栄一翁の周知と子供たちがお金の大切さを学ぶことを目的に制作されました。多くの子供たちに読んで欲しいです。

八戸商工会議所青年部

直前会長 向井 誠仁

(株)コネクトグローバル

青森八戸
YEG 第二回意見交換会

6月2日、青森商工会議所青年部（以下、青森YEG）と当青年部による第1回意見交換会が八戸商工会館にて開催されました。

青森YEGは丸山会長を含め9名で来所され、当青年部執行部8名と両単会の組織の特色や、総会・例会などの参加状況、両市での経済動向、本年度事業から普段の活動についての悩み、自企業の意見交換が行われました。

同様の継続した意見交換を行うと共に、今回の意見交換を踏まえ、今後は観光やイベントなど広域での連携へ繋げていきたいと思ひます。

情報革新委員会

担当副会長 岡本 信也

(株)アイティコワーク



日本
YEG 全国会長会議

4月23日、日本YEG全国会長会議が開催されオンライン参加し

ました。例年であれば、事前にテーマが決められたディスカッションも、今回はひとり1テーマを持ち寄り議論がなされ、主にコロナ禍での活動事例について意見交換を交わしました。また、YEGマニユアルやビジョン策定についてのオリエンテーションも併催され今後の単会運営の気づきを得る会議となりました。

八戸商工会議所青年部

会長 中村 知行

(有)中ペン塗装店

東北
ブロック
YEG 通常総会

5月14日、東北ブロックYEG第1回会長会議・通常総会が福島県白河市で開催されました。冒頭、東北ブロック会長の富山強君（福島県連白河YEG）より本年度はコロナによる逆境からの復活元年とする力強いメッセージを頂きました。通常総会では令和5年度東北ブロック大会開催地について審議があり、むつ市での開催が承認されており、むつ市での開催が承認されています。本年度のブロック大会は宮城県塩竈市での開催です。

八戸商工会議所青年部

会長 中村 知行

(有)中ペン塗装店

八戸YEG おらんの部屋

昔、写真の保存手段はフィルムでした。今では小さなSDカードに何十万枚も保存できますし、なんならもうそんな物が無くてiCloudやGoogleフォトなどのクラウドに自動的に保存できてしまいます。企業の広報、宣伝の手段もこの20年で大きく変化してSNSやYouTubeがメインになりつつあります。さて本年度、情報革新委員会では情報発信による企業革新の手法を

学べる場を提供したいと考えております。前年度好評でした経営力向上のためのセミナーをさらにぎゅつと絞って「広報戦略」に特化しますので、すぐに役立つような内容になると思ひます。多くの皆様と学べる事を楽しみにしております。

情報革新委員会

委員長 沼畑 武行

カスターネット

青森県
YEG 通常総会

5月22日、黒石市において、令和3年度青森県連第1回役員会並びに通常総会が開催されました。役員会では3つの協議事項と2つの審議事項が上程され、両議案とも可決。総会では令和3年度青森県連の八木橋会長が議長に選出され、令和2年度事業報告並びに収支決算、令和3年度収支補正予算（案）の2議案が上程され、両議案共に満場一致で可決されました。

青森県YEG出向

理事 大川 慶人

(株)寿屋

編集後記

本号は中村丸になり最初の記念すべき青年部だよりとなります。新型コロナウイルス感染症の影響は長く、様々な業界にダメージを与えています。新しい時代に対応した姿を見せていくことが希望される未来へ櫂を繋いでいくためには必要だと思ひます。この八戸のために私たちに出来ることは何かを考え、皆で実行していきましよう。

総務室

副室長 中居 翔三

中居食品容器(株)